



わたしはセツコ。偉いまじよ、どいせうします。本当は、正一位聖彌勒なパリオウちゃんって地位にいますけど、わたしも正確な名前が忘れまして、パリオウちゃんをはじめ、みんなもおおばーばって呼ばせてあげよう。最近はおうすっかりその呼ばれ方に慣れてしまってます。

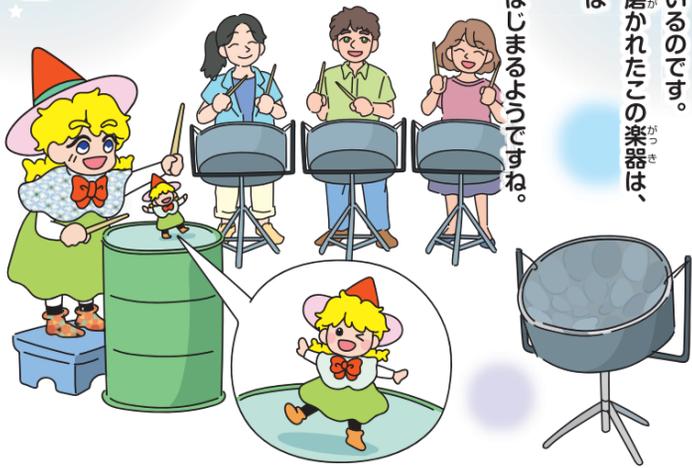
さて、食欲の秋とは申しますが、うちのパリオウちゃん、もう食べすぎじゃないかしら。今日も、おにぎりを食べよう。おにぎりを食べておひらき。まあ、育ち盛りのパリオウちゃん、いっぱい食べるのは悪いことではないのだから、ねえ。お茶漬けにしたいから、梅干しちゅうらいー。年齢のわりに、なかなか粋な食べ方をするので、はいはい、お持ちしますよ。ええと、半年前に仕込んだ梅干しはどいせうだったかしら...

わたしが梅干し探しに手間取るものですから、パリオウちゃんったら、空いた器をおはしていただいて遊びはじめますわ。これはうけな。器をたたくのはだめです。だっていい音出るんだよ。パリオウちゃんが言い返してきますが、だめです。おはして器をたたくん、悪霊がやってくるっていらいますよ。なに、人がせっかくな素敵なミュージックを奏でたのに、なんてことを言ってくるんですが、そもそもマナーの問題です。でも、そんなに「たたく」のが好きなのでしたら...

持ってきた梅干しをパリオウちゃんの口に押し込んで、えいへいを持って、ほろほろと。そしてやってきたのが、「アンティグア島」。アンティグア・バーブータというカリブの国です。この国では、「あるもの」を楽器に使うのですが、みなさん、そのあるものって、わかるかしら。この国では、ドラム缶を打楽器として使うことで有名なんですよ。「スチールパン」といって、たたく場所を変えることで、いろいろな音階が出るようになってるんです。原型をとめないほどにカビカビに磨かれたこの楽器は、とてもドラム缶が元になってると思えないほど美しくもあります。さっそく、音楽隊の人たちの演奏がはじまるわですね。

パリオウちゃんったら、「わたしもさっしやに演奏した」なんて言いますが、お皿をおはしてたたくのはわけが違いますよ。でも、どうしてもパリオウちゃんはいっしょに入りたいようです。仕方がないので、ただのドラム缶を用意してあげよう。「パリオウちゃん、このドラム缶を、合の手のようにテンポを刻んで、どん、どん、どんってたたきなさい」

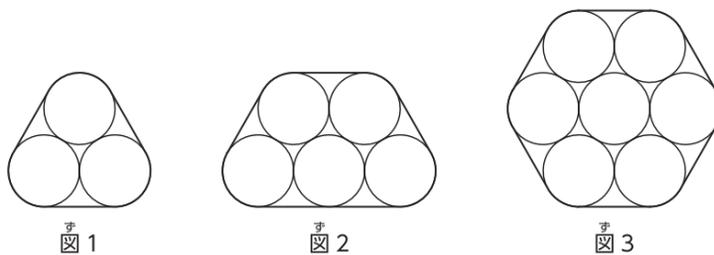
パリオウちゃん、このドラム缶を、合の手のようにテンポを刻んで、どん、どん、どんってたたきなさい



これなら、演奏のじゃまにもならなくて、なんなら太鼓のかわりで、ちゅうい感じになりますわね。あら、パリオウちゃんもドラム缶の上でタンダンスを踊っていますわね、どりりて小刻みな音が聞こえてくるわけですね。いつのまにか、あの二人も息が合うようになっちゃった。そんな演奏を見ているうちに、ドラム缶についての、ちゅうい算数の問題ができてしまいました。演奏の合間に、みなさんも考えてみてくださいね。

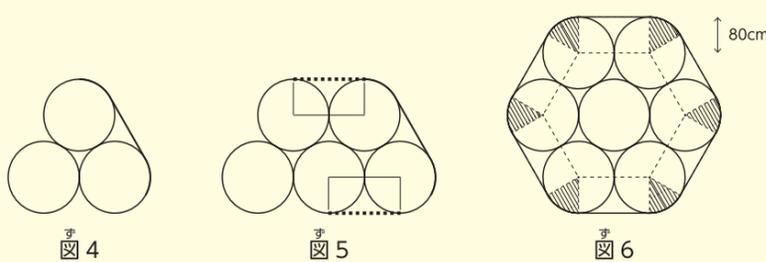
Q おおばーばの問題

同じサイズのドラム缶をいくつかずつ付けて、外側からひもをかけます。図1のように、3つのドラム缶をくっつけて、外側からひもをかけるときのひもの長さより、図2のように、5つのドラム缶をくっつけて、外側からひもをかけるときのひもの長さの方が320(cm)長くなるしましょう。では問題です。図3のように、7つのドラム缶をくっつけて、外側からひもをかけると、ひもの長さは何(cm)になるでしょうか。円周率は3.14としてくださいね。



A 問題の解答

図1のひもと図2のひもの長さの差は、図5の太い点線の長さの和で、ドラム缶の半径の4倍分です。従って、ドラム缶の半径は320÷4=80(cm)とわかります。図6の、斜線をつけた6つのおうぎ形をくっけると、半径80(cm)の円ができあがるので、求めるひもの長さは80×12+3.14×160=1462.4(cm)とわかります。



人物紹介

未熟な魔女「まじよまじよ」を卒業するために日々奮闘中の、どこかおっちょこちょいな魔女。最近、すこすこいろいろな魔法が使えるように。目の前のものをかわいいうへびに変えるのが特技。手厳しさもあればおおらかでやさしいところもある、なぜかパリオウちゃんとの合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。

